

9月の星空まっぷ

【9月中旬、午後8時頃に見える星空】
記録更新の猛暑や洪水災害などでご舞いの日本列島！世界に目を向けても同じような異常気象で、地球上はどことも大騒ぎ。夜空の星たちも、きっと心配してくれてるよ。そんな秋の星たちに会いに行こう！

ハイ！星は暑いから夜のイベントが人気みたいだよ。星空は夜だから、ホミリー、どんな星空見に行けるネ！

=夜空に感じてみよう=

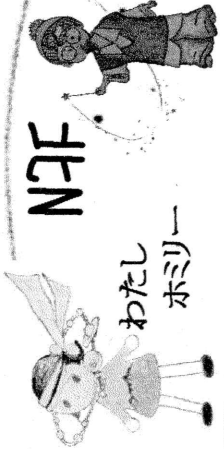
明るい星と暗い星！！

星空を見ると、明るい星もあるけど、圧倒的に暗い星が多い。どうして明るい星や暗い星があるのだろう？
同じところにあるように見える星も、実は地球からの距離は、皆バラバラ。同じ明るさなら近くになれば明るく見える。一方、星はその星が本来持っている明るさがあり、それも星が明るい、暗いと言う見え方の違いと

なっている。
明るさ示す単位としては、「実視等級」が使われます。明るい方から1等星、2等星…、肉眼でかすかに見える星は6等星と呼んでいます。一方、星の本来の明るさは、「絶対等級」と言う単位が使われており、星を約32.6光年離れた位置にあると仮定して計算した明るさで表される。例えば、北極星の実視等級は2等星だけど、絶対等級ではマイナス4等星に近い明るい星だと分かる。そんな理解の上で、秋の星空ただ一つの1等星「フォーマルハルト」を探してみよう！

M31：アンドロメダ銀河

N7F



僕はほし坊

わたしホミリー

= 9月の夜空は=

「天の川」が大舞台！

この時季、天の川は、一年で一番見事な姿を見せてくれます。ほぼ頭の真上。北東から南西にまっすぐ夜空を両断して流れています。その姿は、誰の目にも感動を与えてくれることですよ。

天の川銀河って知っていますか？数千億の恒星の大集団で、地球もその天の川の川銀河の一員です。その天の川の川銀河を地球から見た姿が「天の川」です。でも地球からとても遠いところにある星たちなので、ボヤッとした帯のようにつなげた姿に見えるんです。そんな天の川、広く星空が見渡せる場所、見上げてみましょう。

◎恒星 太陽のように自ら輝いている星

皆既月食を見よう！

9月8日(月)未明から明方にかけて、西の空で皆既月食が見られます。日本では、ほぼ3年振りの皆既月食ですが、時間的には夜半過ぎか月の出前までにあります。皆既食は8日02時31分からはじまり、最大皆既食は03時12分、皆既食終了は03時53分と予想されています。深夜の天文ショーですが、観察に挑戦してみたいか？がでしようか！

◎月食は、太陽-地球-月がほぼ一直線に並び、月が地球の影に入ること起こります。

【星空まっぷの見方】

南の星空を見上げる時は「南」を下に、北を見る時はまっぷをさかさまにして「北」を、同様に東の空は「東」、西の空は「西」を下にして見上げてね！

- ◎ 1等星以上
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下

* {黄道}

天空の星座のあいだを移動する太陽の見かけ上の通り道

